

教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価報告書

(平成22年度事務事業)

平成23年7月

袋井市教育委員会

## 目 次

1	趣旨	P 1
2	点検評価の対象	P 1
	(1) 教育委員会の活動	P 1
	(2) 教育委員会が管理執行する事務	P 1
	(3) 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務	P 2
	① 教育企画のグランドデザイン	P 4
	② 乳幼児教育のグランドデザイン	P 5
	③ 学校教育のグランドデザイン	P 6
	④ 社会教育のグランドデザイン	P 7
3	袋井市教育委員会の自己点検・評価シート	P 8
4	学識経験者による意見	P 16
5	総合評価	P 20

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、毎年、教育委員会は其の権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、自ら点検及び評価を行うことになりました。その目的は、政策効果の把握や、その必要性・効率性等の観点から、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、教育行政の一層の充実と推進を図ることにあります。

この点検及び評価に関する報告書を作成し、市議会に提出するとともに、一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものであります。

## 2 点検評価の対象

### (1) 教育委員会の活動

- ① 定例会及び臨時会の開催並びにその会議の内容
- ② 教育長をはじめとする事務局スタッフと教育委員長及び教育委員との公式・非公式の意見交換
- ③ 首長との意見交換、意見調整
- ④ 保、幼稚園、小中学校をはじめとする教育施設の視察・訪問
- ⑤ その他

### (2) 教育委員会が管理執行する事務

教育委員会は、「袋井市教育委員会の教育長に対する事務委任規則」（袋井市教育委員会規則第8号）第1条に規定されている以下に示す18の事務（教育長に事務委任してしない事務）を管理・執行しています。

- ① 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
- ② 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
- ③ 教育委員会の所管に属する法律第30条に規定する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- ④ 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（施設長以外の非常勤嘱託及び臨時的任用職員を除く。）の任免その他の人事に関

すること。

- ⑤ 法律第27条の規定による点検及び評価に関すること。
- ⑥ 法律第29条に規定する意見の申出に関すること。
- ⑦ 学校その他の教育機関の敷地を選定すること。
- ⑧ 人事の一般方針を定め、又は懲戒を行うこと。
- ⑨ 法令に基づく専門委員及び附属機関の委員の委嘱に関すること。
- ⑩ 教育委員会表彰を行うこと。
- ⑪ 県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- ⑫ 県費負担教職員の人事評価を行うこと。
- ⑬ 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- ⑭ 校長、教頭、教員その他の教育職員の研修の一般方針を定めること。
- ⑮ 市指定文化財の指定又は解除を行うこと。
- ⑯ 重要な請願、陳情等を処理すること。
- ⑰ 教科用図書採択に関すること。
- ⑱ 通学区域の設定及び変更を行うこと。

### (3) 教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務は、市の教育理念である「心ゆたかな人づくり」を具現化するためのもので、年度当初に、教育の方針を示す「袋井の教育」に、教育企画・乳幼児教育・学校教育・社会教育それぞれの取組をまとめ、関係各所に配布しています。

<心ゆたかな人づくりのための各部門の施策の柱>

#### **教育企画**

- ア 教育行政の円滑な推進
- イ 教育環境の整備・充実
- ウ 徳育の推進
- エ 生涯学習の基盤整備
- オ 教育委員会の点検と評価

### 乳幼児教育

- ア 教育・保育内容の充実
- イ 教育・保育サービスの推進
- ウ 子育て家庭への支援
- エ 放課後児童健全育成事業
- オ 児童館の運営
- カ 次世代育成支援行動計画

### 学校教育

- ア 徳育を基盤とした学校・幼稚園づくり
- イ 学力向上の具現化
- ウ 健康教育の推進
- エ 教職員の資質向上
- オ 開かれた学校づくり（学校・家庭・地域の連携強化）  
の推進
- カ 大学を活かした学校づくりの推進

### 社会教育

- ア “心” ゆたかな人づくりにつながる学習機会の充実
- イ ゆたかな感性を培う文化の振興
- ウ “心” ゆたかな青少年健全育成のための推進体制の整備と  
充実
- エ 子どもの安全・安心な環境づくり
- オ 郷土を愛する“心”の育成のための歴史・文化遺産を活か  
した教育・普及活動
- カ 郷土資料収集、保存、展示

# 教育企画

袋井市の教育理念 「心ゆたかな人づくり」

知性の溢れる人 情操の豊かな人 意志の強い人



乳幼児教育・学校教育  
徳育を基盤とした  
園・学校づくり

社会教育  
主体的・自立的な  
生涯学習活動の支援



## 教育理念実現に向けての施策の展開

### (4) 徳育（心の健康づくり）の推進

- ア 徳育推進「袋井モデル」の浸透
- イ 人づくり講演会の開催
- ウ 一徳運動の推進
- エ 徳育推進に係る評価の検討

### (3) 生涯学習充実のための企画調整

- ア 生涯学習大綱の市民への啓発
- イ 生涯学習庁内会議の開催
- ウ 生涯学習の充実に向けた庁内各課の推進状況の把握と指導

### 国の動向

・新学習指導要領への円滑な移行



・学級編制基準見なおし

### 基本目標

- ▶ 「心ゆたかな人づくり」や「生涯学習推進大綱」の具現化に向けた各課との連携と施策の展開
- ▶ 乳幼児教育・学校教育・社会教育の推進のため、計画的な教育環境の整備充実

### 県の動向

・未来を開く、意味ある人づくり（豊かな感性、確かな知性、健やかな心身）

・35人学級の段階的实施



## 教育理念実現に向けての基盤整備

### (2) 教育環境の整備・充実

- ア 学校教育の支援等（備品の整備充実、就学援助・就学奨励）
- ※ 学校施設の省エネルギー活動推進 学校事務の効率化推進
- イ 乳幼児・学校教育施設の計画的な整備充実
- ※ のびのび園庭グリーン事業 小学校給茶器設置事業
- ウ 学校教育施設・設備の修繕



### (1) 教育行政の円滑な推進

- ア 教育委員会の開催
- イ 教育行政の企画、運営及び調整
- ウ 教育予算の充実



### (5) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価

- ア 評価の実施と結果の公表
- イ 点検評価の項目や内容の見直し

# 乳幼児教育(保育・教育)



市教育理念

心ゆたかな人づくり

平成22年度乳幼児保育教育目標 「みんなで育てる じょうぶな体と ゆたかな心」

## 次世代育成支援

### (1) 養護・保育・教育の充実

- ア 宝である乳幼児の生命の保持と育成
- イ ゆたかな心と体の育成
- ウ 徳育を基盤とした保育所・幼稚園づくり
- エ 環境とかわり「生きる力」の基礎を育成
- オ 職員の専門資質と ゆたかな人間性の向上
- カ 開かれた園づくりの推進 (家庭・地域・小中学校との連携強化の推進)

### (2) 保育・教育サービスの推進

- ア 保育所・幼稚園の運営と支援
- イ 乳幼児施設の整備と改修
- ウ 乳幼児保育の拡充
- エ 各種保育事業の促進
- オ 病後児保育事業
- カ 預かり保育の充実
- キ 保育所・幼稚園の連携と一元化
- ク 乳幼児保育需要の把握

### (3) 子育て家庭への支援

- ア 子育て支援拠点施設の運営
- イ 地域子育て支援システム
- ウ ふくろいファミリー・サポート・センター
- エ その他の子育て支援事業

### (4) 放課後子どもプランの推進

- ア 放課後児童クラブの充実と施設整備
- イ 放課後子ども教室の充実

### (5) 児童館運営支援

- ア 笠原児童館の運営

### (6) 次世代育成支援行動計画の推進

質の高い効率的な運営に努めることともに、民間活力の有効な導入を推進

行政改革



地域毎の乳幼児数動向の確把握による、需要と供給のバランスを重視した施策

乳幼児数の動向



## 保育需要の増加

社会環境と経済状況の変化に伴う、核家族化の進展と共働き家庭の増加による保育需要の対応



# 学校教育

## 心ゆたかな人づくり

平成22年度 「かかわりあいの中で ゆたかな心を育む」  
教育目標

### ゆたかな心

生命を大切にし、相手を思いやる心  
地域に誇りをもち、社会に貢献しようとする心

高い規範意識をもち、自らを律する心  
美しいものに感動し、自然を愛する心

#### 確かな学力

思考力、判断力、表現力、知識・技能  
課題発見・解決力、コミュニケーション力、  
耐性、学び方、学ぶ意欲 など

#### 健康でたくましい身体

運動への意欲、運動能力・体力  
望ましい生活習慣・食習慣

#### 幼小中高 連携教育の推進

#### 自主性・創意工夫

#### スリム化の推進

#### (1) 徳育を基盤とした学校づくり 【一校（園）一徳運動の推進】

- ア キャリア教育の日常化
- イ 読書活動の充実
- ウ 道徳の時間の充実
- エ 地域の特色を活かした体験活動の重視
- オ 言葉を大切にした教育活動の展開

#### (2) 学力向上の具現化

- ア 重点をおく資質・能力
- イ 実態把握に基づく授業改善

#### (3) 健康教育の推進

- ア 運動意欲の向上
- イ 望ましい生活習慣の定着

#### (4) 教職員の資質向上

- ア 研修機会の充実
- イ 教職員の自己研鑽

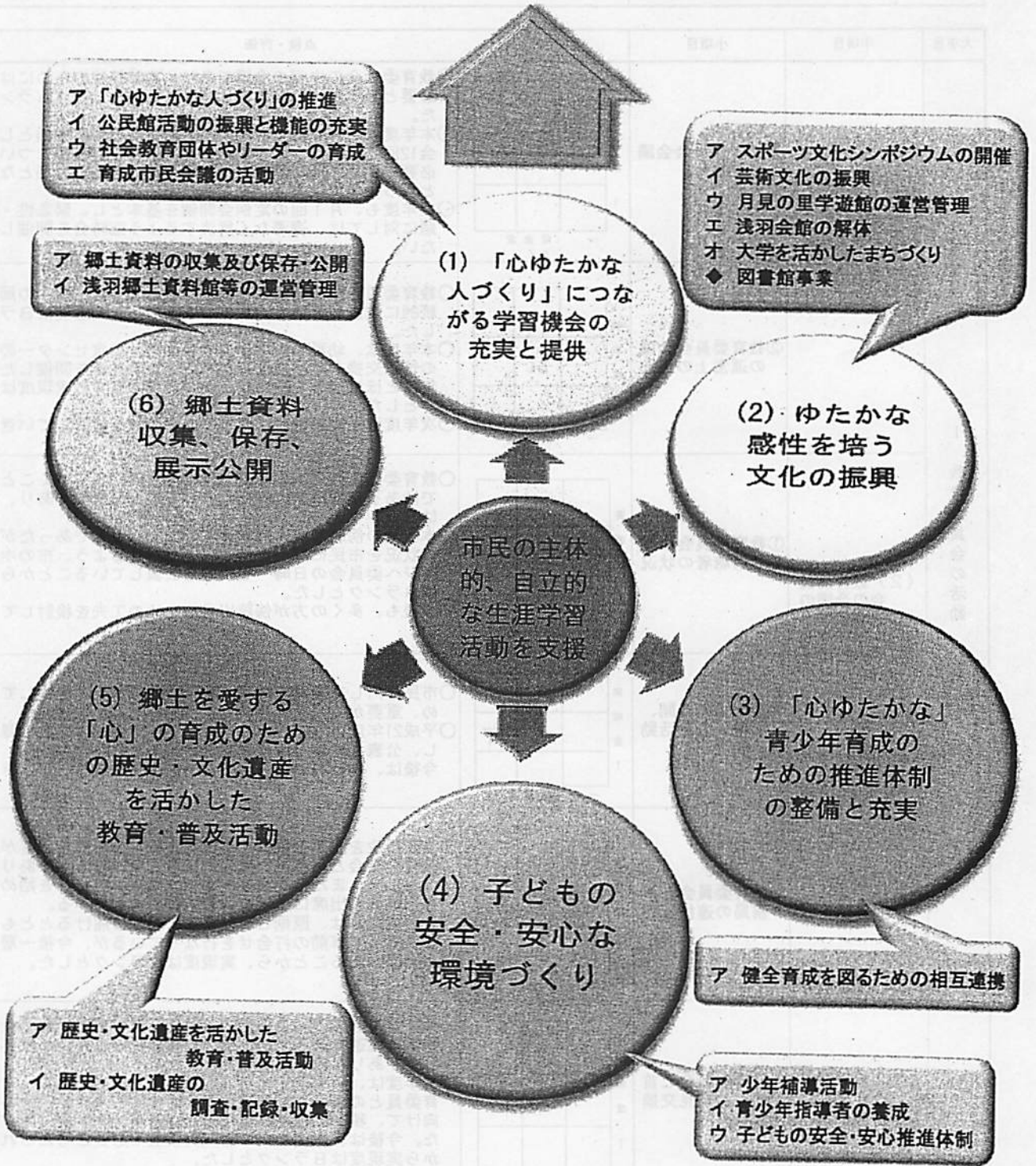
#### (5) 開かれた学校づくり等の推進

- ア 家庭・地域との連携・信頼づくり
- イ 学校間の連携強化
- ウ 子どもの抱える教育ニーズを受けとめた支援
- エ 安心・安全な学校づくり



社会教育

# 心ゆたかな人づくり



### 3 袋井市教育委員会の自己点検・評価シート

#### 自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、袋井市では本シートを用いて平成22年度の活動及び施策の自己点検及び評価を行う。評価の項目は「1教育委員会の活動」、「2教育委員会が管理・執行する務」、「3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」とし、特に3の教育長に委任する事務については、「袋井の教育」に示されている、教育企画・乳幼児教育・学校育・社会教育の各重点施策について点検・評価するものとする。

マトリックスの見方

A	B	C
A	B	C
B	C	A
C	A	B

— 緊急度

**実現度**

A…概ね目標を達成できた  
B…もう少しで目標を達成できた  
C…目標を達成できていない

**緊急度**

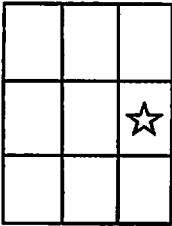
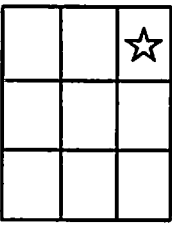
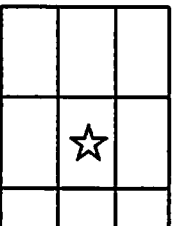
A…非常に緊急性が高い  
B…緊急性が高い  
C…緊急性があまり高くない

大項目	中項目	小項目	点検・評価												
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 10px;"> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>— 緊急度</p> <p>★</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会の中核の会議であり、事業執行のためには承認が必要となるため、緊急性は非常に高いことからAランクとした。</li> <li>○本年度は、昨年度と同様に教育施策等の諮問審議として定例会12回と臨時会3回を開催した。教育重点課題については、必要に応じて随時協議・検討するなど活発な会議となったことから実現度はAランクとした。</li> <li>○次年度も、月1回の定例会開催を基本とし、緊急性・重要課題に対しては、遅滞なく解決するよう臨時会を開催していきたい。</li> </ul>	A	B	C	A	B	C	B	C	A	C	A	B
		A	B	C											
	A	B	C												
	B	C	A												
	C	A	B												
	②教育委員会会議の運営上の工夫	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 10px;"> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>— 緊急度</p> <p>★</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会の会議を広く傍聴できるように市民への周知を継続的に実施していく必要があると考え、緊急度はBランクとした。</li> <li>○本年度は、幼稚園への巡回や公民館、給食センターの職員との情報交換も兼ね施設を会場に教育委員会を開催したが、昨年度とほぼ変わらない状況から、現時点での実現度はBランクとした。</li> <li>○次年度は、図書館や小学校等での開催を検討していきたい。</li> </ul>	A	B	C	A	B	C	B	C	A	C	A	B	
	A	B	C												
	A	B	C												
B	C	A													
C	A	B													
(2) 教育委員会の会議の公開保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 10px;"> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>— 緊急度</p> <p>★</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会の活動内容を市民に広く周知していくことが重要ではあるが継続的に啓発していくことが必要であり、緊急度はBランクとした。</li> <li>○本年度の傍聴者は、昨年度1人に対し0人であったが、会議の状況を市民に関心を持っていただけたこと、市のホームページへ委員会の日時・場所等を公表していることから実現度はBランクとした。</li> <li>今後、多くの方が傍聴出来るための工夫を検討していきたい。</li> </ul>	A	B	C	A	B	C	B	C	A	C	A	B	
	A	B	C												
A	B	C													
B	C	A													
C	A	B													
②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 10px;"> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>— 緊急度</p> <p>★</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民に対して満足度の高い教育行政の実現を目指しているため、重要かつ緊急性がありAランクとした。</li> <li>○平成21年度より市のホームページへ定例会等の会議録を掲載し、公表しており実現度はBランクとした。</li> <li>今後は、内容の充実を図るための工夫を検討していきたい。</li> </ul>	A	B	C	A	B	C	B	C	A	C	A	B		
A	B	C													
A	B	C													
B	C	A													
C	A	B													
(3) 教育委員会と事務局の連携	①教育委員会と事務局の連携	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 10px;"> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>— 緊急度</p> <p>★</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育行政を適正に推進する上で実態把握をする必要があり、教育委員会と事務局との連携は重要かつ緊急性がありAランクとした。また、委員は、学校訪問や学校行事を始め社会教育行事への出席により実態の把握に努めている。</li> <li>○委員会資料は、原則5日前までに委員に届けるとともに、必要に応じて事前の打合せを行なっているが、今後一層の連携が必要であることから、実現度はBランクとした。</li> </ul>	A	B	C	A	B	C	B	C	A	C	A	B	
A	B	C													
A	B	C													
B	C	A													
C	A	B													
(4) 教育委員会と首長の連携	①教育委員会と首長との意見交換会の実施	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="margin-right: 10px;"> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">B</td><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">C</td><td style="width: 20px;">A</td><td style="width: 20px;">B</td></tr> </table> <div style="text-align: center;"> <p>— 緊急度</p> <p>★</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会は、市長部局から独立しているとはいえ教育行政施策の推進を図るためには、市長部局との連携が重要かつ緊急性がありAランクとした。</li> <li>○本年度は、教育行政全般に関わる諮問課題について、市長と教育委員との会合及び懇談会を2回実施し、教育行政の推進に向けて、積極的に意見交換を行ったが、昨年度と同様であった。今後は、市議会との意見交換会も必要と考えられることから実現度はBランクとした。</li> <li>○次年度も早めに日程調整し、意見交換をしていきたい。</li> </ul>	A	B	C	A	B	C	B	C	A	C	A	B	
A	B	C													
A	B	C													
B	C	A													
C	A	B													

<p>(5) 教育委員の自己研鑽</p>	<p>① 研修会への参加状況</p>		<p>○袋井市の教育行政を管理執行する上では、自己研鑽を積むことは非常に重要であるが、緊急度はBランクとした。 ○本年度は、県連関係の研修会等へ参加し、昨今の教育行政の諸課題の理解を深めることができた。また、近隣の市町教育委員との情報交換会を行ない活発な意見交換ができたが1回の開催であったことから、現時点での実現度はBランクとした。 ○次年度は、県連関係の研修会を始め近隣市町の委員との情報交換の機会を充実していきたい。</p>
<p>(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備</p>	<p>① 学校・幼稚園訪問</p>		<p>○教育環境を把握することや子どもが学ぶ姿から教育施策を検討することは、極めて大切なことから重要かつ緊急性がありAランクとした。 ○本市では、毎年全ての公立幼稚園と小中学校を対象に、巡回又は訪問を行っている。本年度は、幼稚園15園、保育所2園、小学校12校、中学校4校を巡回又は訪問し教育委員の参加の下、授業参観及び校長を始め現場の教職員と意見交換・懇談を行った。学校現場の実情を把握する機会として、現場教職員の声を直接聞くことができ、有意義な訪問活動となったことから、実現度をAランクとした。</p>
	<p>② 所管施設の訪問(学校・幼稚園を除く)</p>		<p>○学校を除いた教育施設を適正に運営管理を進める上で実態把握をする必要があり、現場を訪問することは極めて大切であることから重要かつ緊急性がありAランクとした。 ○本年度は、教育委員会の定例会と合わせて2箇所へ訪問したが、現場の実情の把握としては、Cランクとした。 ○次年度は、公民館や図書館など2、3年計画により実施に向けて検討していく。</p>
<p>(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。</p>	<p>44件</p>	<p>【議決事項】 ○平成23年度使用の小学校教科用図書の採択について 【協議事項】 ○富士山の日を学校の休業日にする取り組みについて ○平成22年度袋井の教育について(2回) ○事務局の職員のうち所掌事務に係る教育行政に関する相談に関する事務を行う職員の指定について ○袋井市月見の里学遊館水玉プールの臨時休館について ○袋井市の公民館のあり方について ○平成23年度袋井市立図書館の臨時開館及び特別休館について ○保健医療機関及び保険医に係る行政処分に対する学校(幼稚園)医の取扱について ○袋井市の特別支援学級開設に係る長期計画について 【報告事項】 ○指定学区外就学及び区域外就学の許可について(3回) ○袋井市中央部新設認可保育所運営法人の募集状況について ○(仮称)近藤記念館の建設工事について(3回) ○小学校給茶器設置事業について(2回) ○のびのび園庭グリーン事業(園庭芝生化)について ○徳育推進のシンボルマーク(マスコット)について(2回) ○市中央部新設認可保育所運営法人の選定結果等について(3回) ○袋井市新学校給食センターの建設について(4回) ○袋井北小学校プール改築工事概要について ○袋井市立浅羽郷土資料館の運営方針について ○私立幼稚園への補助金について ○中東遠地区広域図書館業務提携について ○山名小学校の校舎増築レイアウトについて ○袋井市教育委員会表彰について ○袋井市成人式の開催について(2回) ○袋井市乳幼児保育需要調査について(3回) ○袋井市子ども発達支援トータルサポート事業の推進について ○「学校と警察の児童生徒健全育成に関する連携制度」協定書について ○(仮称)歴史文化館について(2回)</p>	
<p>(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。</p>	<p>18件</p>	<p>○5月定例会1件、8月定例会1件、10月定例会2件、11月定例会1件、3月臨時会2件、3月定例会11件 袋井市立幼稚園管理規則の一部改正、袋井市立浅羽郷土資料館条例の一部改正、袋井市公立公民館条例の一部改正、袋井市月見の里学遊館条例の一部改正 他</p>	
<p>(3) 教育委員会の所管に属する法律第30条に規定する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。</p>	<p>0件</p>		

2 教育委員会が管理・執行する事務

(4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（施設長以外の非常勤嘱託及び臨時的任用職員を除く。）の任免その他の人事に関する事。	2件	○平成22年度末人事異動に伴う袋井市教育委員会職員の任免について ○袋井市立公民館長の任命について
(5) 法律第27条の規定による点検及び評価に関する事。	1件	○教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告について
(6) 法律第29条に規定する意見の申出に関する事。	8件	○平成22年度袋井市一般会計補正予算（第1号・教育費）について ○平成22年度袋井市一般会計補正予算（第2号・教育費）について ○平成22年度袋井市一般会計補正予算（第3号・教育費）について ○平成23年度袋井市一般会計予算要求（教育費）について ○平成22年度袋井市一般会計追加補正予算（教育費）について ○平成22年度袋井市一般会計補正予算（第5号・教育費）について ○平成23年度袋井市一般会計予算（教育費）について ○平成22年度袋井市一般会計補正予算（第6号・教育費）について
(7) 学校その他の教育機関の敷地を選定すること。	0件	
(8) 人事の一般方針を定め、又は懲戒を行うこと。	2件	○教育委員会事務局組織の充実のための意見を市当局に行った。（2回）
(9) 法令に基づく専門委員及び附属機関の委員の委嘱に関する事。	34件	○4月定例会18件、5月定例会4件、7月定例会2件、3月定例会10件 就学指導委員会委員、市立小中学校学校評議員、社会教育指導員 他
(10) 教育委員会表彰を行うこと。	3件	○袋井市地域文化活動奨励賞について ○市長表彰の受賞者について ○教育委員会表彰について
(11) 県費負担教職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。	1件	○平成22年度末県費負担教職員の人事異動の内申について
(12) 県費負担教職員の人事評価を行うこと。	1件	○県費負担教職員人事評価について
(13) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。	1件	○教育委員会で協議した方針に基づき、教育長が定例校長会や学校訪問において指導した。

	(14) 校長、教頭、教員その他の教育職員の研修の一般方針を定めること。	1件	○平成22年度「袋井の教育」（教育に関する一般方針）に合わせて協議した。
	(15) 市指定文化財の指定又は解除を行うこと。	0件	
	(16) 重要な請願、陳情等処理すること。	0件	
	(17) 教科用図書採択に関すること。	1件	○平成23年度使用の小学校教科用図書の採択について
	(18) 通学区域の設定及び変更を行うこと。	3件	○袋井南小・高南小の通学区域再編について（3回）
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 教育企画	<p>①教育行政の円滑な推進に関すること。</p>  <p>— 緊急度</p>	<p>○教育委員会定例会・臨時会及び事務局局議は、教育理念「心豊かな人づくり」の具現化を目指し、関係各課と連携を図るとともに、円滑かつ適正に運営するためには、重要かつ緊急性がありAランクとした。</p> <p>○本年度は、昨年度同様に山積される教育課題の解決のために会議時間等調整し、スムーズな推進が図られてはいるが、会議内容を工夫など検討が考えられるため、実現度はBランクとした。</p> <p>○次年度も引き続き教育行政課題の早期解消を図るとともに、充実した教育委員会会議を進めていく。</p>
		<p>②教育環境の整備・充実に関すること。</p>  <p>— 緊急度</p>	<p>○学校教育を推進するためには、教育環境の整備は大きなウェイトを占めるため、緊急性は非常に高いことからAランクとした。</p> <p>○本年度は、袋井北小学校のプール改築に着手し、山名小学校校舎増築設計、夏の暑さ対策のため小学校扇風機設置設計、幼稚園3園の園庭芝生化を行った。また、課題となっていた新学校給食センター整備については、建設予定地を決定し、建設に向けての基本計画を策定して平成25年9月の供用開始に向け事業を前進させることができたことから、実現度はAランクとした。</p> <p>○今後は、老朽化した小中学校等の施設について、中・長期的な視野に立って計画的に改修を進めていく。</p>
		<p>③徳育の推進に関すること。</p>  <p>— 緊急度</p>	<p>○徳育推進は、市の教育理念「心豊かな人づくり」を実現するための大きな柱となる事業であり、毎年着実に推進していくことが必要であることから、緊急度はBランクとした。</p> <p>○本年度から、「市民と協働のまちづくり」の視点に立ち徳育推進人づくり講演会を市民団体と共催で実施するとともに、「一徳運動」を市民団体や事業所に拡大することで、市民と行政が連携・協力する体制づくりを行った。一徳運動の推進では、学校（園）、公民館が情報交換を行うことで連携を深め、家庭では一日一徳チャレンジ（すまいる運動）、シンボルマークの愛称募集、「家族に伝えるありがとうの手紙」に取り組み、一徳運動の実践が徐々に浸透してきているが、市民への周知は不十分であり実現度はBランクとした。</p> <p>○徳育が市民全般に浸透するまでには、まだまだ多くの時間を要すると思われるので、今後も継続的な事業の展開が必要である</p>

(2) 乳幼児教育

<p>④生涯学習の基盤整備に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習推進大綱にうたわれている行政の役割が果たされているかどうかを監督し、より効果的・効率的に事業が展開できるよう関係各部署との連絡調整を図っている段階のため、緊急度はBランクとした。</li> <li>○今年度は、庁内生涯学習推進会議で生涯学習推進のための行政の役割や各事業の進捗状況、市民との協働による生涯学習関連事業について意見交換を行っている段階のため、現時点での実現度はBランクとした。</li> <li>○生涯学習推進大綱の基本理念は「心ゆたかなひとづり」であり、今後効果的に事業を推進するためには、市民との協働のまちづくりという視点に立ち、市民と行政が連携・協力して事業を展開する必要がある。</li> </ul>
<p>⑤教育委員会の点検と評価に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育委員会事務事業の点検評価を行うことは、教育の公平性を保つ上で必要であり、更に教育の充実と活性化を図る上でも非常に重要かつ緊急性がありAランクとした。</li> <li>○本年度は、マトリックや点検評価の内容（コメント）の見直しを行なりやすく改善したが、現時点ではBランクとした。</li> <li>○次年度も抜井の教育に合わせた項目等の改善を図っていきたい。</li> </ul>
<p>①教育・保育内容の充実に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心と体の育成や環境とのかかわりの中で育つ生きる力の基礎作りは、乳幼児が安全で快適な生活を送るために重要であり、緊急性はAランクとした。</li> <li>○今年度は、職員の専門知識の向上にむけた研修について、年代別の研修や乳幼児の生命保持の育成に関する内容の研修を取り入れたが、さらに市内公私幼保職員合同研修を行う必要があるため、実現度はBとした。</li> <li>○次年度は、市内公私幼保職員合同研修を行うとともに、保護者や地域住民との連携の強化を重視し、子育てに不安をもっている親への支援や特別支援を必要とする子に対する取り組みを推進していききたい。</li> </ul>
<p>②教育・保育サービスの推進に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○待機児童の解消を図ることは、抜井市の重要な政策課題であり、緊急性は非常に高いことからAランクとした。</li> <li>○本年度は、認証保育所事業を開始したほか、愛野こども園の建設、(仮称)抜井あそび保育園の運営法人・建設地の決定などの事業を行った。これにより、待機児童は減少傾向にあるが、目標とする解消までには至っていないため、実現度はBランクとした。</li> <li>○次年度も、(仮称)抜井あそび保育園の建設、幼稚園の長期休業中預かり保育の実施、認証保育所制度の拡充などの事業を推進していききたい。</li> </ul>
<p>③子育て家庭への支援に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援センターは、親子の遊び場や相談の場などを提供することで親同士の交流や仲間作りにつながり、母親などが持つ子育ての孤独や不安の解消を行っているため緊急性はAランクとした。</li> <li>○市内に7箇所の子育て支援センターを設置し、年間延べ10万人が利用しているが、平成26年度まで目標利用者数11万5千人に達していないため、実現度はBランクとした。</li> <li>○子育て支援センターにおいても、子育てに関心が低い親や祖父母などを含めた全ての家庭を対象に、親教育や祖父母教育を普及することが課題である。</li> </ul>
<p>④放課後児童健全育成事業に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）は、共働きなどの理由により、昼間保護者等が不在になる家庭の小学3年生までの児童に、遊びを中心とした活動の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的としていることから、緊急性はAランクとした。</li> <li>○全小学校区でクラブを開設しており、待機児童がいないことや定員に余裕があるところについては4年生も受け入れていることから、実現度をAランクとした。</li> <li>○抜井西小学校区と高南小学校区の放課後児童クラブは、現在空き教室をクラブ室に利用しているが、抜井西小学校については、小学校35人学級の導入に伴う学級数の増加、また、高南小学校については、通学区再編により学級数の増加が見込まれる。これに対応するため、平成24年度にクラブ室を普通教室に戻すことから、平成23年度年度にクラブハウスを整備する必要がある。</li> </ul>

<p>⑥児童館の運営に関する こと。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○笠原児童館は、児童に健全な遊びを提供して心身の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする地域における児童全育成施設であることから、緊急性はAランクとした。</li> <li>○管理運営を袋井市社会福祉協議会に指定管理委託しており、年間6,700人が利用している。建築後29年が経過し、施設や備品の老朽化が進んでいることから、施設修繕や遊具の購入を計画的に行っているところであるが、8割程度の達成状況であるため、実現度をBランクとした。</li> <li>○笠原児童館は、多様な遊びができたり、イベントに参加したりと、常に多くの子ども達が集まる魅力ある場にしていくことが課題である。</li> </ul>
<p>⑥次世代育成支援行動計画に 関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○少子高齢化に歯止めをかけ、次代を担う全ての子どもたちが心身ともに健やかに育つように、家庭や地域の子育て力を高めるとともに、親が子育てをする喜びを実感できる社会を実現することを目的としていることで、緊急性はAランクとした。</li> <li>○平成22年度4月から平成27年度3月までを期間として、保健・医療・福祉・教育の各分野が連携して全ての子育て家庭を対象に、103事業を推進しているため、実現度をAランクとした。</li> <li>○年度ごとに事業の進捗状況を把握して進行管理を行い、停滞がみられる事業については改善を図り、子育て環境の変化から生じた新たな課題に対しては検討し充実を図り、次年度以降の計画に反映していく。</li> </ul>
<p>①徳育を基盤とした学校・幼稚園づくりに関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○徳育の推進は、子どもたちが「心ゆたかな人」となるために欠かせないものであり、本市教育委員会における最重点課題であるため、緊急度はAランクとした。</li> <li>○平成22年度は、前年度に引き続き、道徳補助資料集「ふるさと袋井に生きる」を活用した授業実践をまとめた指導案集の修正改善を進め、各校に配布した。各説話の効果的な取り上げ方等が明らかになり、今後のよりよい授業づくりへの期待がもたれるため、現時点での実現度はBランクとした。</li> <li>○「徳育評価指標」（平成20年度作成）をもとに、大人から子どもたちへ投げかけたい言葉集（「ひとこと集」）を作成した。（平成23年4月に新1年生児童の家庭に配布）今後も、学校教育だけでなく、家庭・地域へさらに広め、効果的に活用しながら、心ゆたかな子どもの育成に役立てていきたい。</li> </ul>
<p>(3) 学校教育 ②学力向上の具現化に関する こと。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちが確かな学力を身に付けていくために、より質の高い教育活動を目指し日々努めていくことは学校教育の責務である。また、平成23年度の新学習指導要領の円滑な実施に向け、指導内容の確認や評価観の問い直しについて啓発を図り、教員自身の意識化を促す必要があるため緊急度はAランクとした。</li> <li>○前年度に引き続き、「思考力の向上」に着目し、その具現化を目指し努めてきた。各校においては、「学力向上宣言」を作成し、それに基づく計画的な取り組みが展開され、考える活動の充実が図られるようになった。また、文部科学省指定・学力向上実践研究推進事業に係り、指定校である袋井南中学校では慶應義塾大の鹿毛雅治教授を招聘した研修会を実施し、他校教員も多数参加したが、まだ各校における具現化まで至っていないため、実現度はBランクとした。</li> <li>○今後、他校の研修会にも計画的に講師を招聘し、質の高い研修会を開催することで、さらに教員の資質向上を図っていききたい。</li> </ul>
<p>③健康教育の推進に関する こと。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○食育推進委員会、栄養教諭の働きかけ、他課の事業との連携等により、食育活動が推進し、全国学力・学習状況調査における本市の児童生徒の朝食摂取率は、全国・県よりもやや高い値を示しているため、緊急度はBランクとした。</li> <li>○子どもの運動機会の二極化が見られ、小学校低学年男子では肥満傾向の割合が県平均を上回っている。また、新体力テストの結果が県平均の数値より低い種目が増えているため、実現度はBランクとした。</li> <li>○今後、日常的な運動習慣や食生活に対するさらなる意識の向上を図っていききたい。</li> </ul>

<p>④教職員の資質向上に関する こと。</p>		<p>○教職員の資質向上は、教職員の人間性や指導力が、未来を担う児童生徒の人格の形成、学力の向上等に大きな影響を与えるため、たいへん重要であるため、緊急度はAランクとした。</p> <p>○教育委員会では、校種、職務、教職経歴別に研修会や連絡会等を開催したり、学校が自主的に、自校の研修内容を相互に公開し合うようにしたりして教職員研修の充実図っている。また、はぐくみたい思考力の具体や有効な指導方法等について学び、専門性を高めるため、市主催の教員研修を年6回開催した。実現度に関する今後の課題として、組織マネジメントの発想を生かし、リーダー研修等の内容を多くの教職員に一層浸透させることや、研修内容をさらに充実させることがあげられるため実現度はBランクとした。</p> <p>○今後も、教職員の資質向上を図る効果的な手立てを講じていきたい。</p>
<p>⑤開かれた学校づくり(学校・家庭・地域の連携強化)の推進に関すること。</p>		<p>○地域に根ざした特色ある教育を展開し、魅力ある学校づくりを進めるために、学校・家庭・地域住民の連携強化は、益々重要となってきたため、緊急度はAランクとした。</p> <p>○市内の学校では、学校だよりなどを通じて地域に情報提供を行うとともに、保護者や地域住民・施設等の協力を得て、授業や元気な学校づくり事業、一校一徳運動を積極的、開かれた学校づくりを基盤とする教育活動が展開されるようになった。今後も、さらに、保護者、地域住民が学校教育活動に参加する機会を充実させる一方で、児童生徒が地域行事に参加・協力する機会も積極的に取り入れ、双方向の連携を強化することが課題であるため、実現度はBランクとした。</p> <p>○今後は、保幼小中の縦の接続に関しても一層着目し、横の連携とともに、より効果的なつながり方を追求していく必要がある。</p>
<p>⑥大学を活かした学校づくりの推進に関すること。</p>		<p>○地元大学との連携を密にし、子どもの学力向上に資する取り組みを展開していくことはとても有益であるが、すでに安定した取組となっているため、緊急度はBランクとした。</p> <p>○前年度と同様、静岡理科大学教員による理科出前授業を実施し、子どもの理科学習に対する興味、関心を引き出すことができた。継続的に指導いただいている大学教員もおり授業内容の改善も進んでいる。また、同大学のカリキュラムの一端として行われる、学生による授業アシスタント事業では、毎年度実施していることから、受け入れ校の受け入れ体制が整っていること、また、それぞれの学生の意欲や個性を活かした取り組みが実施されていること等により、一層充実したものとなった。一方で、学生ととも子どもへの支援方法等を学ぶ貴重な体験となり、双方にとって有意義な事業となった。したがって、実現度はAランクとした。</p> <p>○次年度も、双方向の関係を大切にしながら効果的に取り組んでいきたい。</p>
<p>①「心」ゆたかな人づくりに つながる学習機会の充実 に関すること。</p>		<p>○「心ゆたかな人づくり」を基本理念として、様々な学習の機会を市民に提供することは、市民が豊かで潤いのある生活を送るためには不可欠である。緊急度は非常に高いことからAランクとした。</p> <p>○本年度も昨年度同様、地域の社会教育を推進するために、各公民館で学級、講座が開催された。地域での生涯学習活動が積極的に行われているが、内容的に個人の学習に留まる傾向にあるため、実現度はBランクとした。</p> <p>○次年度は、学級、講座などで、内容が地域づくり、人づくりにつながるよう取り組んでいく。</p>
<p>②ゆたかな感性を培う文化の 振興に関すること。</p>		<p>○質の高い文化や芸術に触れ、地域の文化力を高めることも豊かな生活を送るためには欠かせないものであるため、緊急度はBランクとした。</p> <p>○本年度は、昨年度のスポーツ文化宣言をさらに市民に広げるため、スポーツのある暮らしづくりシンポジウムを開催し、袋井市らしいスポーツ文化活動のあり方について意見交換をした。また、月見の里学遊館は指定管理2年目となり、コンサート本番前に未就学児と保護者を対象とした無料コンサートを開催するなど、多くの市民が文化に触れられるような機会を提供した。今後は、各施設等を中心に実施される文化・芸術活動を家庭や地域へ広げていくことが課題である。このため、実現度はBランクとした。</p> <p>○次年度も、様々な文化に触れられるような機会を提供していく。</p>

(4) 社会教育



<p>③ “心” ゆたかな青少年健全育成のための推進体制の整備と充実に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○次代を担う青少年を健全に育成するために、その推進体制の整備と充実を図ることは、非常に重要なことであるため、緊急度はAランクとした。</li> <li>○本年度も青少年問題協議会、青少年健全育成会議、各地区公民館青少年健全育成部との連携や体験学習事業の実施については概ね目標を達成できたが、1年任期で委員が交代する場合等の引き継ぎや課題の共有化などに今後の課題も残る。このため、実現度はBランクとした。</li> <li>○次年度も、各種会議、団体等と連携して、健全育成のための事業を行っていく。</li> </ul>
<p>④ 子どもの安全・安心な環境づくりに関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども（青少年）の安全・安心な環境づくりは、青少年の健全育成とともに、毎日の安全を確保するためにも大変重要である。このため、緊急度はAランクとした。</li> <li>○少年捕縛員等による「声掛け」を中心とした活動や地域ぐるみの学校安全体制推進事業でのスクールガードボランティアの活動、放課後子ども教室の実施など、見守り体制は充実していると言える。このため、実現度はAランクとした。</li> <li>○次年度は、引き続き、いじめなど問題行動につながる心配のある携帯電話の使用などについて、情報モラル教育の推進を図る。</li> </ul>
<p>⑤ 郷土を愛する“心”の育成のための歴史・文化遺産を活かした教育・普及活動に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史・文化遺産を活かした教育・普及活動として郷土資料館・近藤記念館を利用して、資料館に近い浅羽東小、浅羽南小、浅羽北小、笠原小の4校を中心に「縄文土器づくり講座」「史跡探検」「昔のくらし体験」を実施してきたので、緊急度はAランクとした。</li> <li>○市北部の小学校への働きかけについては、市南部とは歴史・風土が異なり、今後の普及拡大に向けた調査・研究が必要であるため、実現度はBランクとした。</li> <li>○今後は、平成23年11月に予定されている、(仮称)歴史文化館のオープンにあわせて、メロープラザや浅羽図書館等と連携をとって事業を進めていきたい。</li> </ul>
<p>⑥ 郷土資料収集、保存、展示に関すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の保護顕彰を進めるための事業で、郷土資料館で開催した「新・後井の文化財展」や近藤記念館で開催した「郷土の発展に尽くした人々展」が盛況であった。流鏝馬と仏像をテーマとした2回の資料館講座とも定員を超える聴講者があり、市民の文化への関心の高さがうかがえたので緊急度はAランクとした。</li> <li>○資料整理は、緊急雇用創出事業等を利用し資料整理を進め、保存処理も保存状態の悪い古文書の修復を行い、展示・活用できるようにした。また、未整理の資料や修復の必要な古文書等も存在するため実現度はBランクとした。</li> </ul>

#### 4 学識経験者による意見

袋井市教育委員会の自己点検評価における学識経験者の知見の活用は、次の方  
お願いしました。

氏 名	備 考
杉 田 豊	静岡文化芸術大学顧問、元静岡県教育委員会教育長

### I 評価結果について

#### 1 全体評価

袋井市教育委員会は、市の教育理念を「心ゆたかな人づくり」とし、一人ひとりの市民が自己実現を図るとともに、地域の産業・経済・文化等のさらなる振興・発展に貢献できる人材の育成を目指しています。具体的には「知性に溢れ、情操が豊かで未来を拓く意志の強い人」づくりに努めることとしています。理念に迫るための方策として、乳幼児・学校教育では「徳育を基盤とした園・学校」づくり、社会教育ではすべての教育の源流である「家庭教育」の充実を図ることにより、人間としてよりよく生きるための高い規範意識や使命感を身に付けた人づくりの実現に尽力しています。

教育理念や理念に迫るための方策等は、地域性を踏まえ首尾一貫するものとなっており適切です。今後の取り組みが期待されます。

以上の観点から、全体評価として「優れている」と評価します。

### II 項目ごとの評価

#### 1 教育委員会の活動

##### (1) 教育委員会の会議の運営改善

##### ① 教育委員会会議の開催：「優れている」

教育委員会の会議は、教育に関する事務の管理や執行の基本的な方針を決定する最も重要な会議であり、開催回数もさることながら、その内容により評価されるべきものです。教育の重点課題については、定例会(12回)に加え、臨時会(3回)も開催し活発な議論を重ねているうえ、さらに随時協議・検討をするなど現状を踏まえた活発な会議が実施されています。

② 教育委員会会議の運営上の工夫：「良好」

教育委員会が、市庁舎に限らず幼稚園・学校、公民館、学校給食センター等、職員との情報交換も兼ね市庁舎を離れて開催することは望ましいことです。

今後とも計画的に教育施設等での開催が望まれます。

(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信

① 教育委員会会議の傍聴者の状況：「良好」

「傍聴者数が0人」をどう評価するかは難しい。評価は、人数より広報の充実、傍聴の場と機会が与えられているかの視点で判断すべきものと考えます。

② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況：「良好」

定例会の議事録をHP（ホームページ）に掲載し公開していることを評価します。

(3) 教育委員会と事務局の連携

① 教育委員会と事務局との連携：「優れている」

委員は、会議の内容を理解して会議に臨むことが必須の条件です。そのため、委員には会議資料を5日前までに届け、必要に応じ事前説明をするなど、委員と事務局の連携はよく取れています。

(4) 教育委員会と首長の連携

① 教育委員会と首長との意見交換会の実施：「良好」

教育委員会は、首長部局から独立しているとはいえ、市の教育行政の有機的な推進を図るために首長部局との連携はなによりも大切です。市長と教育委員が会合、懇談会をもち積極的な意見交換をした点を評価します。

(5) 教育委員の自己研鑽

① 研修会への参加状況：「良好」

教育委員が、県連関係の研修会に参加することは、県内の教育行政上の課題を理解することになり有用です。また、近隣市町の教育委員との情報交換会を持つことは互いの課題を知るとともに、新たな取り組みのヒントを得ることになり有意義です。

委員には、常に自己研鑽が求められます。深い教育理解があってこそ教育の議論が深まるからです。

## (6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備

### ① 学校・幼稚園訪問：「優れている」

教育委員会事務局職員が、毎年、全公立幼稚園・小・中学校を対象に巡回・訪問をしています。全校訪問等が可能な規模であるとはいえ、素晴らしいことです。また、教育委員も授業参観、校長はじめ教職員との意見交換をするなどその取り組みを高く評価します。

### ② 所管施設の訪問（学校・幼稚園を除く）：「おおむね良好」

教育委員が、図書館、公民館等所管施設を訪問し、意見交換をすることは、所員の励みになるとともに現状把握に有用なことと考えます。計画的な訪問が望まれます。

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

(1) 「教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること」から(18)「通学区域の設定及び変更を行うこと」については、別添資料の「教育企画課」「すこやか子ども課」「学校教育課」「生涯学習課」から、きめ細かな管理・執行がなされていることが窺えます。それゆえ、「優れている」と評価します。

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

### (1) 教育企画

#### ① 教育行政の円滑な推進に関すること：「良好」

定例会等に教育行政の円滑な推進のための努力が伺えます。

#### ② 教育環境の整備・充実に関すること：「優れている」

課題の整備が計画通り実施されています。

#### ③ 徳育の推進に関すること：「優れている」

徳育の推進については、他市町よりかなり先行しています。学校教育はもとより、社会教育の取り組みが特に顕著です。市全体で取り組んでいることを評価します。

#### ④ 生涯学習の基盤整備に関すること：「良好」

#### ⑤ 教育委員会の点検と評価に関すること：「良好」

教育委員会の点検評価は、真摯に実施されています。教育評価は特に難しいものですが、評価項目、評価方法等については今後改善の余地があるように思います。

## (2) 乳幼児教育

- ① 教育・保育内容の充実に関すること：「良好」
- ② 教育・保育サービスの推進に関すること：「良好」
- ③ 子育て家庭への支援に関すること：「良好」

以上は、主要事業の概要・事業内容から評価しました。

- ④ 放課後児童健全育成事業に関すること：「優れている」  
昼間保護者不在の家庭の児童のための「放課後児童クラブ」の充実を評価します。
- ⑤ 児童館の運営に関すること：「良好」  
笠原児童館の年間利用延べ数は確実に増加しています。
- ⑥ 次世代育成支援行動計画に関すること：「優れている」  
主要事業の概要・事業内容から評価しました。

## (3) 学校教育

- ① 徳育を基盤とした学校・幼稚園づくりに関すること：「優れている」  
徳育が児童・生徒の身につき、その成果が日常生活に表われてくるためには時間がかかります。少なくとも現時点における学校・幼稚園の取り組みは、他市町と比較した場合、かなり進んでいると評価されます。
- ② 学力向上の具現化に関すること：「良好」  
各学校が「学力向上宣言」をし、その具現化を目指しているなど高く評価しますが、他の市町でも昨今同様な取り組みがみられることから、「良好」としました。
- ③ 健康教育の推進に関すること：「良好」  
主要事業の概要・事業内容から評価しました。
- ④ 教職員の資質向上に関すること：「優れている」  
校種、職務、教職経験別の研修、自校の自主的な研修の公開をはじめ、課題の一つである専門性を高めるための研修等を実施するなど積極的に取り組んでいます。
- ⑤ 開かれた学校づくり（学校・家庭・地域の連携強化）の推進に関すること：「良好」
- ⑥ 大学を活かした学校づくりの推進に関すること：「優れている」  
継続的な取り組みを高く評価します。

## (4) 社会教育

- ① “心” ゆたかな人づくりにつながる学習機会の充実に関すること：「優

れている」

公民館活動は、総じて優れた活動をしています。文部科学大臣表彰や県教育長表彰は、その成果が認められたものであり、高く評価されます。優れた活動を展開している公民館をモデルとし各館の活動がより活性化されることを期待します。

- ② ゆたかな感性を培う文化の振興に関すること：「良好」
- ③ “心” ゆたかな青少年健全育成のための推進体制の整備と充実に関すること：「良好」
- ④ 子どもの安全・安心な環境づくりに関すること：「良好」  
「声かけ」運動やボランティアの活動、放課後子ども教室の実施など、見守り体制は充実しています。3.11. を経験し、早急に地震・津波対策の見直しが必要かと思われまます。
- ⑤ 郷土を愛する“心”の育成のための歴史・文化遺産を活かした教育・普及活動に関すること：「おおむね良好」
- ⑥ 郷土資料収集、保存、展示に関すること「おおむね良好」

## 5 総合評価（事務局）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、平成21年度から教育委員会に属する主要事業や事務事業の取組状況について、「袋井の教育」に掲載した基本目標や主要事業の項目に基づき、自己点検・自己評価を行うとともに、学識経験者からの評価をいただきました。

全体評価としては、袋井市の教育理念である「心ゆたかな人づくり」に基づき、「知性」溢れ、豊かな「情操」を身につけ、未来を拓く「意志」の強い人づくりを進めていく取組は、一定の評価を受けるとともに、自己評価することは、課題の発見や施策の妥当性を判断するためには有用なことであり、今後の事業展開を行う上でも大変有意義なものとなりました。

今後は、評価基準や評価方法の検討・見直しを行い、自己評価することで直接事業の向上に結びつけることができるように、実効性のある評価方法を確立していくことが必要であると考えております。